

翔の章



孫生 —そして次の山へ—



第2回「山の日」記念全国大会開催地(栃木県那須町)の紹介

■栃木県の自然環境のあらまし

栃木県は、県北部から西部にかけての山岳地帯が日光国立公園に指定され、2,578mの日光白根山を最高峰に2,000m級の雄大な山々が連なる一方、関東平野の北端に位置する県央部以南には、標高数十mの里山が数多く点在するなど、実に変化に富んだ多種多様な山々を有しております。



男体山と中禅寺湖(日光市)

これらの山々から流れ出る清流は、山裾から広がる大地を潤して実り豊かな農作物を育み、栃木県の「食の魅力」の源となっています。また、多様性に富んだ山々は、本格的な登山ばかりではなく、身近な里山として自然体験や健康づくりの場を提供し、多くの皆さんに親しまれております。



白根山と五色沼(日光市)

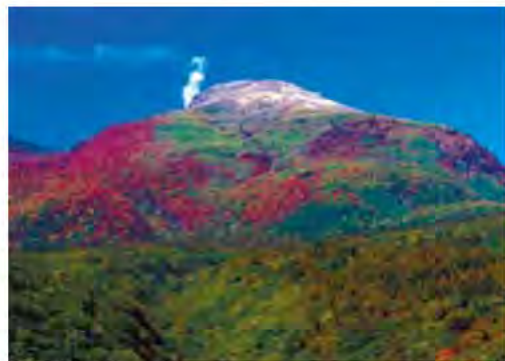
大会会場となる那須町は、栃木県の最北端に位置した観光と農林業の町です。北西部には那須連山の主峰、茶臼岳(1,915m)がそびえ、今もお噴煙を上げています。山麓地帯には日光国立公園「那須温泉郷」があり、多くの宿泊施設や別荘地、殺生石などの史跡やテーマパークがあり、さらには皇室の御用邸があることから「ロイヤルリゾート那須」として知られております。

また、裾野には傾斜地を利用した広大な酪農地帯、南東部には松尾芭蕉や義経伝説に代表される様々な史跡と共に、歴史ある里山の農村風景が広がっています。

■第2回「山の日」記念全国大会 概要

第2回「山の日」記念全国大会は、8月11日に、那須町文化センターで記念式典を行い、余笹川ふれあい公園で歓迎フェスティバルを開催いたします。本大会は、栃木県の自然環境の特徴を最大限に活かし、「とちぎらしさ」を存分に実感できるような参加・体験型の大会を目指しています。

また、那須町をはじめ、県内各地で開催されるイベントでの様々な体験を通じて、県内外の皆さんにとちぎの山々が育んだ美しい自然や豊かな食の恵み、さらには特色ある温泉などの魅力を余すことなく満喫していただくことにより、山の恩恵への感謝と、山を守り育てていく大切さを伝えて参ります。



茶臼岳(那須町)




駒止の滝(那須町)

※写真は栃木県HPのフォトライブラリより

長野県の施策・統計

「信州 山の日」の趣旨や制定を契機とした取組を県民等に広く周知し、定着・浸透を図るとともに、山に関わる様々な取組への県民等の参加促進を図っています。

[平成29年度 長野県の主な山に関する施策]

五感で感じる山	世界水準の山岳高原観光地	美しく安全な山
<p>親 山に親しみ、学ぶ機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「信州 山の間」中に県下で山に関連したイベントの開催 ・親子ふれあい登山 ・トレッキングツアー ・ダム見学会 ・星空映画祭 等 ■楽しく安全な登山のため、信州登山案内人の活用 ■「森のようちえん」などの「信州やまほいく」の推進 <p>伝 山の歴史・文化の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「信州 山の日」フェスタの開催 ■ホームページやSNS等による信州の山の魅力発信 ■信州山岳文化創生事業による、山岳文化の発信 ■図書館、民間の美術館などで、「山」をテーマにした企画展・ロビー展等を開催 	<p>活 世界水準の山岳高原観光地の形成</p> <p>雄大な自然など長野県ならではの強みを生かし、世界水準の滞在型観光地を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■重点支援地域による取組の促進 ■大型観光キャンペーン「信州DC」の展開等を通じ、国内外からの誘客を促進 <p> 世界級リゾートへ、ようこそ。山の信州</p> <p>誘 山岳高原への誘客</p> <p>銀座NAGANOの活用推進や森林セラピーや森林の里親等の推進により、森林の価値を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■銀座NAGANOを活用した「山」関連イベント ■森林セラピー基地等の積極的な利用促進 ■県内スキー場の利用拡大に向けたプロモーション ■森林(もり)の里親制度による、企業等が実施する森林整備を推進 	<p>保 山岳・森林環境の保全</p> <p>山岳の環境保全と適正利用を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■長野県登山安全条例に基づき方針を策定し、登山道整備等を推進 ■「自然公園グレードアップ構想」に基づき、登山道、トイレ等の施設整備を支援 ■森林の保全と県産材の利活用を推進します。 ■山地災害等への対応と未然防止策を的確に実施するとともに県産材の利活用を最大化 <p>守 登山の安全対策</p> <p>長野県登山安全条例の普及啓発や「信州山のグレーディング」の活用を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■長野県登山安全条例に基づく登山計画書届出の周知 ■「信州山のグレーディング」による「自分の力量にあった山選び」の推進 ■信州登山案内人の利用促進

■登山を安全に楽しむために

【長野県登山安全条例】

日本を代表する山岳県にふさわしい登山の安全対策や登山道・標識の環境整備を総合的に推進し、多くの人々に長野県の山岳を安全に楽しんでいただくため、「長野県登山安全条例」を制定しています。

【信州 山のグレーディング】

安全登山の啓発活動の一環として、「信州 山のグレーディング」を実施しています。

- 長野県内の102の主要登山ルートについて、「体力度」と「技術的難易度」で評価しています。
- 登山者の「力量にあった山選び」により、安全に登山を楽しめます。



長野県 H.P



信州山のグレーディング

■子どもたちの未来のために

【信州やまほいく(信州型自然保育)認定制度】

子どもたちの「生きる力」を育むことを目的として平成27年にスタートした信州やまほいく制定制度は、信州の豊かな自然環境と多様な地域資源を活用した体験活動を積極的に取り入れた保育・幼児教育(自然保育)を行う森のようちえんや既存の認定園を県独自の基準により認定し、幼児期の豊かな育ちを支援しています。



■山岳高原への誘客

【森林(もり)の里親促進事業】

地域の活性化を推進するため、社会貢献活動に熱心な企業等と、森林整備に意欲のある地域を、長野県の仲介により、里親契約を締結し、協働による森林整備や交流等を実施しています。



【全国一の森林セラピー県推進事業】

全国に向けた「森林セラピー県ながの」の発信等を通じて観光や健康産業と連携した新たな産業の育成をしています。

森林セラピーとは

緑の中にいると、さわやかな気持ちになったり、心が落ち着いたりすることを、誰もが経験的に知っています。この「森林浴」の効果について、科学的な解明が進められ、森林に代表される地域の自然をココロとカラダの健康づくりに役立てていこうとする取組みです。



【参考】

長野県のシンボル(昭和41年8月制定)

<p>県鳥</p>  <p>らいちょう ＜ライチョウ科＞</p>	<p>高山に生息する鳥で、鳩よりやや大きく、国の特別天然記念物に指定されています。寒冷地の生活にも耐えるように足に羽毛があり、夏はかつ色、冬には純白と季節によって羽の色が変わります。 県内では、中央アルプスの2,400m以上のハイマツのある岩石地帯に生息し、ハイマツから人なつかしげに首をもたげるようすはとても愛らしい姿です。</p>
<p>県花</p>  <p>りんどう ＜リンドウ科＞</p>	<p>やや乾いた山地や草地に自生し、9～11月ごろ紫色の美しい花を咲かせます。茎は30～60cmで、大きいものは1mくらいのももあります。 気品あるこの花が咲くと秋の深まりを感じます。</p>
<p>県獣</p>  <p>かもしか ＜ウシ科＞</p>	<p>山岳地帯の岩場や急傾斜の斜面がある森林に生息し、大きさは大型の山羊くらいで、国の特別天然記念物に指定されています。体の色はかつ色で、雄雌ともに黒色の角があります。 県内では中央アルプスをはじめとして八ヶ岳などの針葉樹林がある山岳地帯に生息し、アルプスの稜線にたたずむかもしかの姿には厳しい大自然に立ち向かう孤独で崇高なものがうかがえます。</p>
<p>県木</p>  <p>しらかば ＜カバノキ科＞</p>	<p>別名を「しらかんば」といいます。白くなめらかな木肌が特徴で、木の高さは20mほどになります。 県内では、白樺湖、志賀高原、蓼科高原などで美しい白樺の林を見ることができます。その白い幹は四季の変化に富む自然によく調和し、信州の高原には欠かせない清らかさと風情をたたえています。</p>

長野県における「山」に関するデータ

分野	項目	長野県の数値	全国順位	全国の状況
気候	年平均気温	12.4℃	42位	47位北海道9.4℃
	年降水量	975mm	47位	1位静岡2,351mm
	降雪日数	68日	6位	1位北海道116日
山岳	山岳	159座	1位	全国1,003座
	3,000m峰	15座	1位	全国23座
	日本百名山	29座	1位	2位山梨・群馬11座
	三大峠(針ノ木峠、三伏峠)		—	雁坂峠(秩父)
	三大雪渓(白馬大雪渓・針ノ木大雪渓)		—	剣沢大雪渓(剣岳)
	スキー場	77箇所	2位	1位北海道85箇所
	索道施設(リフト)	511基	—	
	国立公園	5箇所	2位	1位北海道6箇所
自然公園	国立公園	3箇所	5位	1位北海道5箇所
	県立自然公園	6箇所	—	
	自然公園面積	278,548ha	3位	1位北海道867,540ha
	自然公園面積割合	21%	11位	全国15%
	立地	日本一海から遠い地点(佐久市)	114.853km	—
日本最高所の湖沼(御嶽山二ノ池)		標高2,905m	—	
日本一深い積雪(栄村森宮野原駅)		785cm	—	S20(1945).2.14
日本一大きなパラボナアンテナ 白田宇宙空間観測所(佐久市)		直径64m	—	
日本一高地にある水族館 蓼科アミューズメント水族館(茅野市)		標高1,750m	—	
植物		植物(維管束)	3,257種	—
	指定希少野生動植物 (うち特別指定希少野生動植物):維管束植物	52(14)	—	
動物	動物(脊椎動物)	447種	—	
	指定希少野生動植物 (うち特別指定希少野生動植物):脊椎動物	9(2)	—	
森林	指定希少野生動植物 (うち特別指定希少野生動植物):無脊椎動物	19(4)	—	
	木本	601種	—	
	三大美林	木曾ヒノキ	—	秋田スギ、青森ヒバ
	森林率が81%以上の市町村数	33市町村	2位	1位北海道55市町村
	森林面積	1,058,051ha	3位	
	森林率	78%	3位	
	保安林	576,018ha	—	
	水源涵養保安林	418,404ha	—	
	土砂流出防備保安林	149,071ha	—	
	森林セラピー基地・ロード	10箇所	1位	全国48箇所
特用林産物	山菜	1,179t	—	
	まつたけ	34.9t	1位	2位岩手県 3.5t
	栽培きのこ	150,911t	1位	
	野生きのこ(くりたけ)	4.5t	2位	
	木炭	1120.8t	9位	1位岩手4132.2t
	薪	7,636㎡(層積㎡)	4位	1位宮城31,920㎡
	わさび	1,086t	2位	1位静岡1134t
農業	夏秋レタス収穫量	157,200t	1位	全国254,600t
	そば収穫量	2,400t	4位	1位北海道11,400t
	みそ生産量	197,093t	1位	2位愛知43,718t
水源	水道水源地	1,714箇所	—	
河川	一級河川延長	5,070.4km	2位	1位北海道10,175.6km
	一級河川水系の数	8水系	2位	1位北海道13水系
	三大河川	信濃川	—	利根川、石狩川
	県管理ダムの数	16ダム	—	
温泉	温泉	230箇所	2位	1位北海道263箇所
	温泉施設数	2,098施設	2位	1位静岡2,404施設
	三御湯	別所温泉・野沢温泉	—	秋保温泉(宮城県)
	三大奇祭	御柱祭	—	なまはげ(秋田)、吉田の火祭り(山梨)
文化財等	国宝	7件	—	全国1,085件
	重要文化財	173件	—	全国12,867件
	重要有形民俗文化財	7件	—	全国212件
	重要無形民俗文化財	8件	—	全国278件
	特別名勝	1件(上高地)	—	全国30件
	特別天然記念物	1件	—	全国72件
	天然記念物	21件	—	全国957件
	名勝	5件	—	全国333件
	国登録有形文化財	413件	—	全国8,987件

※統計資料、インターネット等により調査

※調査時点によっては、発行時とは状況が異なる場合がございます。ご了承ください。

■長野県の観光

- 本県の観光地利用者数は2年ぶりの増加傾向
- 山岳・高原湖沼分野についても、徐々に回復しつつある傾向 (単位:千人)

年次	H22	H23	H24	H25	H26	H27
山岳	4,215	3,835	4,050	4,199	3,847	3,819
高原・湖沼	41,540	40,937	41,461	42,310	41,292	42,523
その他(温泉、名所・旧跡)	41,043	39,577	39,214	39,044	39,044	46,972
計	86,798	84,349	84,725	85,553	84,183	93,314

(出典)長野県観光部 「長野県観光地利用者統計」

■長野県の中高等学校における登山学習

- 本県特有の取組である登山学習は、全体として徐々に回復傾向
- 小学校での取組が増加傾向。中学校の取組は減少傾向 (単位:校)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	
小学校	実施校数	60	81	87	96	109
	全校数	382	374	370	370	367
	割合	16%	22%	24%	26%	30%
中学校	実施校数	170	160	156	156	147
	全校数	187	186	187	188	187
	割合	91%	86%	83%	83%	79%
高等学校	実施校数	3	4	4	3	2
	全校数	106	106	104	104	103
	割合	3%	4%	4%	3%	2%

(出典)長野県業務資料

■長野県の野生鳥獣による農林業被害

- 全国的にも深刻な課題となっている野生鳥獣による農林業被害は本県でも甚大
- 集中的な捕獲対策やジビエ振興等により、被害は徐々に低減 (単位:千円)

年次	H22	H23	H24	H25	H26
農業被害	931,166	852,900	794,203	733,950	706,846
林業被害	559,960	564,780	470,389	414,208	362,562
計	1,491,126	1,417,680	1,264,592	1,148,158	1,069,408

(出典)長野県業務資料

■長野県の素材生産量の推移

- 長野県の素材生産量は、木材価格の低迷等により昭和60年以降減少傾向で推移
- 平成17年を底として、近年は県内の森林が成熟し利用する時期を迎え増加傾向 (単位:千㎡)

年次	S60	H17	H24	H25	H26	H27
素材生産量	912	262	364	437	437	448

(出典)長野県業務資料

■長野県への移住者数及び移住したい都道府県ランキング

- 行政サポートによる本県への移住者数の推移は近年増加傾向
- 移住したい都道府県ランキングは上位をキープ (単位:人)

年次	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
行政サポートによる長野県への移住者数	297	396	456	408	510	763	927

(出典)長野県業務資料

年次	順位	H23	H24	H25	H26	H27
移住したい都道府県 ランキング	1位	長野県	長野県	長野県	山梨県	長野県
	2位	福島県	岡山県	山梨県	長野県	山梨県
	3位	千葉県	福島県	岡山県	岡山県	鳥取県

(出典)NPO法人 ふるさと回帰支援センター ニュースリリース(H28.2.15)資料より

■長野県における山岳遭難発生件数

- 過去最多となった平成25年の300件を2年続けて下回り、減少の傾向が伺えるが、死者は前年より12人増加

年次	H23	H24	H25	H26	H27
発生件数(件)	227	254	300	272	273
内、死者(人)	49	42	65	46	58

(出典)平成27年中(長野県)山岳遭難統計 長野県警察本部山岳安全対策課、長野県山岳遭難防止対策協会

■近年の林地荒廃被害の発生状況

- 平成18年7月豪雨災害では諏訪地域を中心に大きな被害が発生
- 近年では、平成26年7月台風8号災害により、南木曾町で死者1名、家屋10戸等が被災

年次	H23	H24	H25	H26	H27
林地荒廃被害箇所数	345	34	91	56	47
被害額(千円)	8,586,600	2,724,000	4,629,800	3,742,000	1,277,700

(出典)長野県業務資料

■考察

- 登山学習の回復やインバウンド等による観光地利用者数の増加等を背景に、「山」への関心は徐々に取り戻しつつある状況
- 山の日制定は、登山はもとより、林業や鳥獣被害対策、森林の利活用などを含め、総合的に「山」を見つめ直す良い機会
- 次代を担う子供たちに、山の魅力や価値、危険性をわかりやすく伝えながら、山と触れ合う機会の増加させることが課題

四方山日記

平成27年(2015年)

5月14日(木) 天気:晴れ

山風吹き始める。第1回大会の開催地誘致に向け、長野県・松本市・上高地町会連名の要望書を超党派山の日議員連盟と全国山の日協議会に提出。



5月22日(金) 天気:晴れ

全国山の日協議会臨時総会開催。松本市副市長と長野県林務部長出席。第1回大会の長野県松本市上高地開催が決定。



6月10日(水) 天気:快晴

街風。松本市山岳観光課と長野県林務部による大会準備のための合同現地調査を実施。開催に向けた会場や式典行事のイメージづくりを開始。



8月11日(土) 天気:快晴

山の日施行1年前を記念し、大分県九重町でイベントが開催され、松本市と長野県、上高地町会による調査団を編成し、大会運営、式典行事進行、会場設営、スタッフ行動等を確認。



10月1日(木) 登山口 天気:晴れ

午前8時30分、聞きなれない音楽が流れ、松本市役所本所2階の大会議室は静寂に包まれていた。我々新組織の者たちと同様に異動となる職員が整列した。この日、松本市職員4名、長野県職員出向者4名からなる、山の日記念大会推進室が松本市商工観光部内に新設された。室員は八名。「八」はまさに山の形そのもので、否応がなく、「山」に深く関わっていく。新事務所は日本アルプス上高地の山麓、梓川の下流の谷あいにある。登山の歴史を振り返れば、徳本へと向かう登山口にあたる鳥々の地に、スイスの建築様式を模した白亜の旧安曇村の役場があり、その一階に用意された。僧越にも旧村長室であり、前自治区長室である。午前10時、開所式を行い、各自仕事の準備をする。夕刻、安曇の谷も日が落ち、岳風が強まり、雨が降り始めた。慈雨。きのこにとっては最高の雨だ。山の恵みに感謝である。

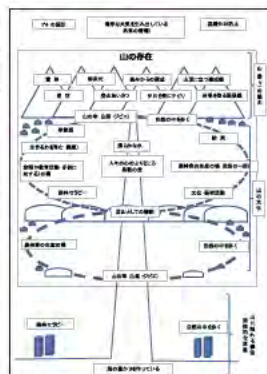


10月6日(火) 天気:晴れ

室内で大会理念検討のための打合せ。岡田渾身のツリー図がでかあがる。

10月8日(木) 天気:晴れ

加藤室長と棚秋、高山は終日東京。風なし。午前、環境省と林野庁にあいさつ回り、午後、(一財)全国山の日協議会へ。



10月13日(火) 天気:晴れ

街風。加藤室長ら数人で上高地現地調査。



10月14日(水) 天気:晴れ

街風。朝から、室員全員がフル回転で予算編成作業。午後、山と渓谷社が来室。

10月15日(木) 天気:晴れ

岳風。午後、信州大学の鈴木啓助先生が来訪。



10月16日(金) 天気:晴れ

街風。加藤室長、岡田、春原、大久保で上高地現地調査。

10月20日(火) 天気:晴れ

天気が崩れない。本日も街風。午前上高地町会他地元関係者と打合せ。

10月21日(水) 天気:晴れ

街風。加藤室長、春原が東京出張、国機関等に実行委員会設立の相談。以降、数度上京し説明。

10月22日(木) 天気:晴れ

街風。やや強し。東京出張はやや荒れ模様。午後、県庁で開かれた会議に加藤室長と棚秋が出席。

10月26日(月) 天気:晴れ

風なし。昨日、全国的に木枯らし第一号が吹いたようだ。大久保がラジオに生出演し、室として初めての山の日説明と室の紹介を行った。名言「ボス」が生まれる。

10月27日(火) 天気:晴れ

街風。午後上高地に現地調査に行った、高山、所、春原の話によれば風はそれほど強くなかったという。



10月29日(木) 天気:晴れ

街風。朝から網戸の工事。加藤室長、と加藤(孝)、大久保は東京へ、フォーリンプレスセンターと打合せ、夕刻、(一財)全国山の日協議会運営委員会へ。

11月10日(火) 一合目 天気:曇りのち雨

岳風。県庁での会議に加藤室長と棚秋が出席。某TVの朝番組でてんびん座が二位、ふたご座が一位。



11月11日(水) 天気:晴れ

街風。微風。加藤室長、棚秋、高山で山へ上がり、上高地帝国ホテル他施設を調査。



11月13日(金) 天気:曇り

珍しく一日中曇りだった。街風。冬へと加速しているようだ。午後、新しい仲間がやってきた。トヨタクラブ4だ。室の公用車である。夕刻、環境省松本自然環境事務所と打合せ。この日、バリエで同時多発テロ発生。

11月18日(水) 天気:曇りのち雨

加藤室長と棚秋は東京へ出張、基本計画について国機関と打合せ。夕刻、迎賓館前で県林務部担当と打合せ。

11月20日(金) 天気:曇り

加藤室長が(一財)全国山の日協議会臨時総会に出席し大会成功に向けた意気込みを発表。

11月25日(水) 天気:曇り

朝より時間がたつにつれて気温が下がっている。山にかかる雲の色もぐっと冬に近づいている。降るかもしれない。二台目の公用車がやってきた。グレーのヴォクシーだ。八人乗りで室員全員で移動できる。午後環境省松本自然環境事務所と打合せ。



11月26日(木) 天気:雨

岳風。午前取材対応。午後、あいにくの雪交じりの雨の中、国機関関係者と上高地現地調査。



11月28日(土) 天気:晴れ時々曇り

寒い。ようやく11月らしい寒さだ。今日から二日間、まつもと市民芸術館で「山岳フォーラム」が開催される。我々室もPR活動を行う。その折に「8・11(ハッテンイチイチ)事件」と呼ぶ人がいた。「3・11」、「9・11」は何かと騒がしい。1月は聖徳太子が冠位十二階を作った日らしく、2月は建国記念日。4月は3年前にスマトラで大きな地震が発生。5月は45年前に松浦輝男・植村直己がエベレストに日本人初登頂。6月は110年前、東京からの鉄道が塩尻まで延伸。7月は28年前、世界人口が50億人を突破。10月は70年前、「りんごの唄」が大ヒットした「そよかぜ」という初めての邦画が封切。11月は九州山の日でもあるが、90年前にアメリカで「ルート66」が開通した日だ。12月は今から48年前、佐藤栄作首相が非核三原則を公表。他にも埋もれた一大事があるに違いない。さて、来年のハッテンイチイチ事件は歴史に何を残すか。



12月2日(水) 天気:晴れ

街風。地元紙に当室取材記事が掲載された。各担当の計画策定が佳境に入中、春原作成式典会場ミニチュアがすごい。午後、加藤室長、栩秋、所で林野庁中信森林管理署へ打合せ。



12月3日(木) 天気:雨のち曇り

岳風。気圧が下がっている。空気が生ぬるい。室員も体調を崩している。午前、自然公園財団上高地支部と打合せ。午後、松本地方事務所、松本建設事務所と打合せ。



12月9日(水) 天気:晴れ

街風。ときおり地元の方から差し入れをいただく。とてもありがたいこと。それに応える仕事をしなくては、と気を引き締める。



12月14日(月) 天気:曇り

岳風。一つの仕事が終わる、が雨は降らない。



12月17日(木) 天気:晴れ

街風。上高地会場と松本市街地会場の二会場案を検討する。



12月21日(月) 天気:雨

県庁で関係機関と打合せ。

12月22日(火) 天気:曇り時々晴れ

街風。午後、実行委員会設立に向け、松本市、長野県、上高地町会、(一財)全国山の日協議会による準備委員会を開催。方向性を検討。

12月25日(金) 天気:曇り時々雨

街風。気圧下がる。季節外れの台風予報出る。

平成28年(2016年)

1月8日(金) 2合目 天気:晴れ

東京、都道府県会館で実行委員会設立総会開催。引き続き第1回総会を開催し基本計画を承認。本格的に作業に入る。



1月12日(火) 天気:晴れ時々曇り

事務局の制服ができあがる。左腕には非公式ロゴ。



1月15日(金) 天気:晴れ

松本市議会経済地域委員協議会のため、加藤室長、栩秋、高山が本所へ。市議会から大会への期待と交通等地域対応要望有。昨晚、縣井沢でバス事故。13人が亡くなられた。不慮の事故に遭われた方々に哀悼とお見舞いを申し上げる。

1月18日(月) 天気:大雪

風なし。南岸低気圧の影響か、今冬一番の大雪。通勤にも支障が出る。

1月19日(火) 天気:雪

岳風。県庁で関係機関と式典行事等の運営に関する打合せのため、加藤室長、栩秋、岡田、春原が出席。

1月21日(木) 天気:晴れ

街風。-9度。今冬一番とも言えるほど冷え込んだが、雪のおかみで辛くはない。栩秋、所で松塩地区広域施設組合と運動場の借用等について打合せ。

1月26日(火) 天気:晴れ

早朝-13度。午後、栩秋が上高地観光旅館組合の研修会に出席。基本計画を説明する。

1月29日(金) 天気:雨(曇)

午後、第1回の運営委員会。実行委員会の現地組織として具体的な行事内容等の検討を行う。



2月1日(月) 天気:曇り

大久保インフルエンザでダウン。週末、各地で「雨水害」が発生。屏温泉他で宿泊客等が一時孤立。午後、実施計画説明会に加藤(孝)、春原が対応。



2月4日(木) 天気:晴れ

午前、加藤室長が松本商工会議所会報のインタビュー取材。午後、県庁で関係機関との打合せに加藤室長、栩秋が出席。

2月9日(火) 天気:雪

午後、高山と所で労働基準監督署へ。新しいスタッフ受入の環境整備。

2月10日(水) 天気:雪のち晴れ

☆取材のお話し

こんにちは(^^)事務局の大久保です。事務局の松本市安曇支所山の日記念大会推進室には、連日のようにプレスの方が取材にいらっやいます。ありがたいことです。今日は、地元新聞の記者さんが、映画「エヴェレスト」×山の日記念全国大会のタイアップポスターの取材に来てくださいました。取材中のスタッフを隠し撮り!うん、いい笑顔(^_^) 掲載日が楽しみです!ちなみにこのポスターを掲示して下さるお店や事務所を大募集中です☆近くでしたらお届けしますよ。それから、今日はこんなグッズもついでに取材していただきました♪じゃーん!! ↓ ↓ わたくしお手製の"山の日"記念全国大会in上高地"コースター
♪♪お正月には、やりのケシハン(消しゴム判子)で作ってみましたところ、意外と好評をいただき、お昼休みにコツコツ増産しております。会社のデスクで、飲食店のテーブルで、事務所の接客機で...その他使い方もいろいろ。おひとついかが??お問い合わせは、室までどうぞ。毎日寒い日が続きますね...インフルエンザも流行っているとか...。某室員の机の上。予防が大事ですね!見習います。みなさまもくれぐれも体調には気を付けてくださいね。



2月15日(月) 天気:曇りのち雨

実施計画に関して、国機関との打合せのため栩秋、春原が東京へ出張。

2月16日(火) 天気:曇りときどき晴れ

☆奈川・乗鞍へ打合せに

某事業の打合せのため奈川と乗鞍に行ってきました。奈川での打合せを終え、楽しみなお昼を。奈川の名物料理、これなんでしょう?正解は、「とうじそば」奥に写っている「とうじかご」で、その都度そばを温めながら食べるので、お蕎麦も伸びないし、鍋料理みたいに常にあつあつ。寒い冬が長い奈川ならではのアイデア料理ですね。くわしくはこちら(ながわ観光協会HP)のお店では、前日までスペシャル企画でキジ肉を使っていたようで、キジ肉の出汁を感じましたよ!さて、続いて乗鞍で打合せを終え、道中にあるMt.乗鞍スノーリゾート(HP



にリンク(スキー場)に立ち寄りました。お天気よし!ゲレンデ状況よし!雪質、本日も最高!!標高は下のゲレンデでも1,500mありますからね(^^)さて、乗鞍の雪質チェックを終え、去年の秋に開店したばかりの「日本一標高の高いところにあるバウムクーヘン工房」ヤムヤムツリーに立ち寄りました。あまり見ない形ですよね。これ、香ばしくて歯ごたえが適度であって、とっても美味しいです!インターネットでも購入できるようですが、ぜひ乗鞍

高原にお出かけください。運が良ければ、新作の試食ができるかも??以上、現地から大久保がお伝えしました。



2月26日(金) 天気:曇り

岳風。岡田は県庁で打合せ。加藤室長と所はJRへ事前説明。午後、松本市議会委員会へ。夕刻、羽秋、春原は環境省松本自然環境事務所と打合せ。

2月29日(月) 天気:雨のち雪

街風。午後、加藤(孝)と大久保は安曇小学校へシンボルマーク製作の打合せへ。他、第二回運営委員会。

3月1日(火) 天気:晴れ

街風。松本平は日本アルプスの山陵が美しくなびき、きりっとした冬の日。新しいメンバーを迎え入れる。胡桃澤は長野銀行から企業協力の一環として派遣された。午前、室での着任式を済ませ、午後本所で辞令交付式。夕刻、うれしいニュースが舞い込んだ。協賛の内諾が得られたのだ。第一号である。人的協力による企業協力の第一号のあったその日に資金協賛も第一号が決まる。



3月4日(金) 天気:晴れ

岳風。春が近い。加藤室長、高山、加藤(孝)、岡田、所、春原、大久保、胡桃澤は銀座NAGANOで、実行委初の広報イベント。北アルプスの「山の恵み」である雪をお届け。みどりの女神もチラシ配りに御協力いただく。



2月18日(木) 三合日 天気:晴れ

☆大会チラシができました

第1回「山の日」記念全国大会のチラシが刷り上がりました(^^)。A4両面です。ちなみに、表(おもて)面は「河童橋と穂高連峰」の景色を背景にしました。みなさんもきっとポスターとか観光パンフレットで見たことがある有名なショットだと思います。真っ青で雲一つない青空に、穂高連峰がご機嫌そうにそびえたった素敵な写真です♪



昨日、室長に雪形を教えてもらいました(^^)穂高連峰に隠れた雪形...上條嘉門次とウォルター・ウェストン(と、横たわる獲物)!チラシでもはつきりと写っていますので、見つけてみてくださいね。さっそく今朝、松本地方事務所の1階ロビーに設置してもらいました。いい場所にセットしていただき感謝です♡ところで、チラシの裏面に採用した景色は...意外と使われていない写真かもしれません。河童橋の少し上流から穂高連峰を眺めて、クルッと振り向いた感覚をお楽しみください。今後、松本市内、県内外に配布しPRしていきます。その他、大会チラシを窓口などに設置してくださる企業・団体さまはぜひご連絡くださいませ。

2月22日(月) 天気:晴れ

今日からいよいよ協賛企業回りがスタートした。加藤室長と大久保が主導し、先陣を切って二つの企業を訪問。春原が実施計画のプロポーザルの第一次審査を行う。

2月23日(火) 天気:快晴

富士山の日。街風。加藤室長、大久保は協賛営業。

2月24日(水) 天気:晴れ時々雪

街風。室に新しいメンバーを迎えることが正式に決定。式典行事計画や広報活動が活発になる中で人員増はありがたい。早速、席を準備する。広くない執務室ではあるが、賑やかになるのはいいこと。



3月10日(木) 天気:曇り

冬に逆戻りである。風なし。加藤(孝)、大久保はフォーリンプレスセンターとの打合せで東京へ。

3月11日(金) 天気:曇り

五年前、日本は未曾有の大惨事に遭った。多くの尊い命が失われ、今なお、避難している人たちがおり、復興のための事業が続いている。改めて、謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げる。当然ながら、「山」にも災害はつきものである。昨年、御嶽山の噴火で観光客が命を落とすこととなってしまった。「山の日」の大会にあたって、山で命を落とした多くの方への追悼と、これから起こるであろう災害にも思いを巡らすことが必要だ。

3月12日(土) 天気:曇り

☆シンボルマークの素材作りを行いました。

事務局の胡桃澤です。3月12日に松本市の安曇小中学校で、第1回「山の日」記念全国大会のシンボルマークの素材作りを行いました。学校がお休みの土曜日にもかかわらず、安曇小学校、奈川小学校、大野川小学校の3校から23名の子供たちが参加してくれました。最初に、事務局の加藤室長より「山の日」が祝日になったことについてお話をしました。子どもたちはみんな真剣に聞いていました。続いて、デザイナーの小野圭介さんより、シンボルマークの制作についてご説明をいただきました。小野さんは、長野市育ちの方で、JP日本郵政グループやバンダイナムコなどのロゴをデザインした有名なデザイナーなんです。小野さんから、「山」といえばどんなものを思い浮かべますか?という質問に、子どもたちは、「花」、「木」、「鳥」など、元気に答えてくれました。そして、「山」といえば、「花」、「木」、「鳥」、「川」、「蝶」、「人」と6つのイメージができました。



な真剣に聞いていました。続いて、デザイナーの小野圭介さんより、シンボルマークの制作についてご説明をいただきました。小野さんは、長野市育ちの方で、JP日本郵政グループやバンダイナムコなどのロゴをデザインした有名なデザイナーなんです。小野さんから、「山」といえばどんなものを思い浮かべますか?という質問に、子どもたちは、「花」、「木」、「鳥」など、元気に答えてくれました。そして、「山」といえば、「花」、「木」、「鳥」、「川」、「蝶」、「人」と6つのイメージができました。

子どもたちは6班に分かれ、色紙をチョキチョキしながらそれぞれの6つのイメージのモチーフを作成しました。小野さんにアドバイスをいただきながら、一生懸命作成しました。班ごとのモチーフが完成した時には、「できたー!!」と元気に事務局の私たちにも見せてくれましたよー。全ての班が完成したら、小野さんの作成した「山の日」の文字の周りに、子供たちのモチーフを貼って発表しました。山がとても身近な開催地の子供たちの感性が生き生きと溢れ出していて、私たち事務局員も見ているとすごく楽しかったです。最後に小野さんと子供たちと元気に記念撮影をしました。ロゴは、小野さんに少し校正をしていただき、4月下旬には皆さまにお披露目できるかと思います。どんなシンボルマークができるのか、私たちもとても楽しみです。



この日、大阪で県外告知の第一弾としてアウトドアフェスティバルに出展。(一財)全国山の日協議会スタッフ、県林務部職員と共同でチラシ配布等を行う。



3月15日(火) 天気:晴れ

☆中央線に「山の日」の中づりが!

事務局の胡桃澤です。JR中央線すべての車両(中央快速線、京葉線、青梅線、武蔵野線など)に「山の日」の制定をPRする中づりがお目見えしました。これは、環境省さまが掲出したもので、「山の国、JAPAN」の見出しとともに、第1回記念全国大会開催地、中部山岳国立公園の上高地の写真も使われています。中づりが掲出される期間は平成26年3月12日(土)から平成26年3月18日(金)までです。このような中づりが出ると、「山の日」が盛り上がりが出てきたー!と感じます。電車に乗った際は、ぜひチェックしてみてください。



3月16日(水) 天気:晴れ

街風。岡田、加藤(孝)、胡桃澤はホテルエナピスタに宿泊関係の現地調査。



3月17日(木) 天気:晴れ

岳風。午後、加藤室長、栩秋、高山、岡田は松本市庁内連絡会議へ。実施体制本部の設置とスタッフ派遣協力を依頼。同じく加藤(孝)と胡桃澤がネイチャーガイド協議会研修会に出席し大会概要を説明。夕刻、加藤室長、栩秋は上高地町会総会に出席。



3月20日(水) 天気:晴れ

小諸市で開催された第3回ロングトレイルシンポジウムに加藤室長、加藤(孝)が出席、大会概要を説明。東京御徒町で開催されたイベントに出展。



3月22日(火) 天気:晴れ

街風。九州で松本のPR活動をさせている観光大使の赤司さんが来訪。



4月1日(金) 天気:晴れ

岳風。室の平成28年度の開所式と辞令交付式を開催。新しく内川をスタッフとして迎える。これで10人体制となる。

4月5日(火) 天気:曇りのち晴れ

街風。午後、報道機関向け説明会を開催。栩秋、加藤(孝)、胡桃澤が対応。



4月7日(木) 天気:大雨

☆グリーングリーン☆

皆様こんにちは。事務局の大久保です。早速ですがご覧下さい…!

緑が眩しいこのデザイン!こちらは林野庁国有用林野部が製作した、「山の日」ののぼりと法被です。山への愛にあふれたスタイルとなっています!16番目の国民の祝日として「山の日」が制定され、今年から施行されることとなり、山や森林に関係する各機関では大いに盛り上がりを見せています。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という制定趣旨のもと、広く国民の皆様々に「山の日」制定に込められた想いを知っていただくため、実行委員会構成の各団体が協力し、第1回「山の日」記念全国大会開催に向けて共に気持ちを高めしていきます(***)



4月8日(金) 天気:曇りのち晴れ

☆ひと足お尻に上高地へ へあるてんとう虫との出会いへ

こんにちは。事務局の春原です。本日は、「山の日」記念全国大会式典開催準備のため、開山前の上高地へ下見に行き参りました。私たちが前回上高地を訪れたのは昨年(2014年)の12月でした。その時は歩道が凍り、足元がツルツルと滑っていた記憶がありますが、3~4月ぶりに見た上高地は雪もだいぶ融け、





標高1,500メートルとは思えないほど気温も暖かく感じました。未だ開山前ではありますが、既に登山客と思われる方が数人歩いていらっしやるのを見かけました。(今年の上高地開山祭は4月27日水曜日です。これからますます暖かくなり、緑の美しさを増していく上高地。夏真っ盛りの8月11日に開催される「山の日」記念全国大会では、どのような景色を私たちにを見せてくれるのでしょうか。順調に下見を進めている中で、生まれて初めての経験をしました。「なんだか手がかゆいなあ・・・あっ!!!」ふと手元を見ると、黄色い「てんとう虫」が私の手にかみついていたのです・・・!焦っていたので写真が撮れませんでした。代わりにこちらを・・・患部の写真ですが、分かりにくいでしょうか・・・(苦笑)てんとう虫との小さなハプニングに、春の訪れを感じた春原でした☆上高地には特別に許可された車で入りました。上高地は通年マイカー規制です。上高地の冬季通行規制は、4月15日に解除されます。

4月12日(火) 天気:晴れ

☆春陽の候

事務局の大久保です。今朝は寒かったですね～。車のフロントガラスが久しぶりに霜で真っ白になっていました。とはいえ昼頃になると、安曇地区もぼかぼかと暖かい日差しが降りそそぎ、やさしい春を感じるようになってきました。いい匂いのする春風とうぐいすの声に誘われて支所をひとまわりしたら、たくさんの春を見つけました? 鳥々谷川沿いの桜並木です。↓桜はやっと5分咲きくらいでしょうか。こちらは安曇支所前の梅です。満開を過ぎて・・・12分咲きでも表現しましょうか。それから支所の建物の裏側では、砂利の大地でもめげない元気なふきのとうを見つけました(^^)見做したい生き様でございます。食べごろはちょっと過ぎちゃったかな? 日々、暖かさが増し、登山愛好家さんもワクワクしてくる季節かもしれないですね。さて、ここで少し県の事業をPR。「長野県登山安全条例」の周知ポスターが届きました。

「長野県登山安全条例」は、H27年12月17日に公布施行され、長野県内の山岳を登山される皆さまは、7月1日から「登山計画書」の提出が必要となります。詳しくはこちら(周知チラシ)をご覧ください。いよいよ登山シーズンが近づいてまいりました。今年も、安全で楽しい登山を楽しみましょうね(^^)



4月14日(木) 天気:晴れ

街風。加藤(孝)と胡桃澤は大阪へマスコミ懇談会。夕刻、加藤室長、栩秋、岡田、春原で環境省松本自然環境事務所に事前説明。夜半、熊本で地震。かなりの大きさ。



4月15日(金) 天気:晴れ

街風。午後、第3回運営委員会。熊本地震発生。被災者多数。熊本城半壊。

4月23日(土) 天気:晴れ時々曇り

街風。所、春原、大久保、内川は東京代々木のアースデイイベントのため明日まで出張。



4月27日(水) 天気:曇り時々晴れ

☆今日は上高地開山祭です

こんにちは。事務局の大久保です。本日4月27日は、上高地開山祭があり、事務局長とともに私も参加してまいりました。今日はぼかぼかと暖かく、冬の間静寂に包まれていた穂高の山々も、アルプホルンの音に聞き入っているようでした。天気の良いもあって、参加者は昨年よりも多く3,500人名程度の方にお越



しいいただいたようです。見事な獅子舞でした。開山祭終了後に、穂高神社奥宮の神様に、8月11日を中心として上高地などで開催する「第1回「山の日」記念全国大会」の成功をお祈りしてまいりました(^^)明日は東京で、全国大会実行委員会の第2回総会があります。大会ロゴマークの発表も予定しています!乞うご期待!!



4月28日(木) 四合目 天気:雨

都道府県会館にて第2回総会。式典行事等の実施計画骨子と大会ロゴマークを決定。補正予算の承認を得る。



5月14日(土)・15日(日) 天気:快晴(夏日)

東京日比谷公園でのみどりのフェスティバル。3月の銀座NAGANO、大阪アウトドアフェスタ、4月の代々木公園でのアースデイに続いて広報イベント第4弾である。栩秋、高山、岡田、大久保が担当し、直接メッセージをもらうことを目指してメッセージボードを準備。



5月23日(月) 天気:晴れ

街風。乗鞍高原開山祭・すもも祭りに加藤(孝)が参加し、大会をPR。



5月24日(火) 天気:晴れ

街風。高山、所、内川が上高地現地調査。雪も消え、いよいよ会場づくりに向けた本格的な作業が始まる。加藤(孝)、胡桃澤は広報まつもとの取材対応。



5月25日(水) 天気:曇り

☆みなさんの想い。

こんにちは。事務局の胡桃澤です。5月19日付「松本平タウン情報」に、第1回「山の日」記念全国大会のロゴマーク・キャッチフレーズについて記事を掲載していただきました!ロゴマークのモチーフづくりに関わったり、キャッチフレーズで入選した松本地域の子どものインタビュー記事が掲載されています。当大会のロゴマークの制作およびキャッチフレーズや山にまつわるエピソードの募集には、県内外の多くの児童・生徒の皆さんのご協力が欠かせませんでした。明るく元気で、親しみやすく、大会の理念をととてもよく表した素敵なロゴマークが完成したこと山への想いをキャッチフレーズやそれにまつわるエピソードに込めて応募し、私たちに新たな気付きや感動をくださったこと全て、ご協力いただいた児童・生徒の皆さんをはじめとする多くの方々のおかげです。改めて感謝申し上げます。これからも様々な場所で、ロゴマークやキャッチフレーズが紹介されます。ぜひご注目ください(*^o^*) (掲載にあたっては、松本平タウン情報様から著作物使用許諾の許可を得ています)
同日、岳風。(一財)全国山の日協議会理事会に加藤室長が出席。



5月26日(木) 五合目 天気:曇り時々雨

街風。超党派「山の日」議員連盟総会で加藤室長が大会概要を説明。午後、加藤室長、高山が田部井淳子事務所を訪問。式典への来賓参加、寄稿等を依頼。田部井さんから「生きているうちに『山の日』が誕生したことが何よりも嬉しい。」とのお言葉をいただく。栩秋と内川は飯田水引の打合せのために飯田市へ。



6月1日(水) 天気:晴れ

街風。冗談でも、あと70日という時間はとても辛い。加藤室長と内川は東京へ大使館説明(以降、数回上京)。

6月2日(木) 天気:晴れ

街風。岡田と県林務部職員が国際フォーラムの舞台となるあがたの森文化会館を調査。



6月3日(木) 天気:晴れ

街風。記念品の選定にあたっての現地調査に栩秋、高山と内川が木曾平沢へ。

6月5日(日) 天気:晴れ

全国植樹祭への出展で加藤室長、岡田、春原が長野市へ。ウエスタン祭でもPR。



6月9日(木)10日(金) 天気:晴れのち雨

風なし。梅雨。寒くさえある。加藤室長、加藤(孝)、大久保、内川は上高地へ、フォーリンプレスツアー。海外メディアへの情報発信を行う。



6月11日(土)12日(日) 天気:曇りのち雨

無風。湿度極めて高し。JR名古屋駅にほど近いウイंक愛知で「夏山フェスタ」が開催される。栩秋、高山、所、春原が担当し、メッセージボードをつくりあげる。



6月13日(月) 六合目 天気:晴れ

街風。新しく三人のメンバーが加わった。水越、井出、奥原。ありがたいことだ。感謝。



6月24日(金)25日(土)26日(日)27日(月)

天気:曇り時々晴れ

福岡タワーで行われた夏山フェスタに出展。栩秋、大久保、水越、井出が担当。松本市観光大使の赤司さんにお世話になる。ここでもメッセージボードを作成。



6月29日(水) 天気:曇りのち雨

東京で国機関と式典行事等の打合せに加藤室長、栩秋が対応。



6月30日(木) 天気:雨

胡桃澤がFMまつもとの電波で大会を宣伝。

7月1日(金) 天気:曇りのち雨

岳風。第4回の運営委員会。先般3人の増員に続いてさらに市から丸山を増員。手の届かなかったことが充実する。とても助かる。



7月2日(土) 天気:快晴

街風。現場作業を自力施工で行う。

7月4日(月) 天気:曇り

☆なんでも鑑定団の収録が行われました

こんにちは。事務局の胡桃澤です(*^_^*)第1回「山の日」記念全国大会の開催を記念して、「出張!なんでも鑑定団 in 松本市奈川」の収録が7月2日(土)に松本市奈川文化センター夢の森で行われました。山の日記念大会推進室では、チラシやロゴマークコースターの配布を行いました☆山の日ロゴマークポスターの前でニコリ写真を撮る方もいらっしゃいましたよ♪そして、収録の観覧には400人ほどのお客様が来場し、大変盛り上がりました(^-^)/鑑定士の先生も、松本市奈川の雄大な山々の景色に感動してくださいましたよ!そして気になる鑑定結果ですが、中には〇百万円を超えるお宝も!?結果は、テレビ信州、テレビ東京の放送をご覧ください!



7月5日(火) 天気:曇り

街風。午後、栩秋、奥原、胡桃澤で松本建設事務所に計画説明。まだまだやるべきことは山ほどあると実感する。

7月6日(水)7日(木) 七合目 天気:曇り時々晴れ

街風。二日間にわたり大会関係者等による現地調査。室員全員で対応。舞台装置のない中でイメージだけでひとつひとつの流れを確認していく。それでも課題は多く見つかリ、大会準備のスピードをさらにあげなければならないことに気づかされる。



7月8日(金) 天気:曇り

街風。新たに臨時職員として赤羽を任用。朝から本所で第2回の松本市市内連絡会議に加藤室長、栩秋、高山が対応。各部署に応援要請を行う。正午、大会スタッフ用の弁当のサンプル到着。



7月13日(水) 八合目 天気:雨

岳風。スタッフユニフォームが届く。午後、グレンパークさわんどで交通対策会議に加藤室長、栩秋、奥原、胡桃澤が対応。



7月14日(木)15日(金) 天気:曇り時々晴れのち雨

岳風。2日間、第3回の実行委員会。これまで東京で開催してきたが、3回目は現地調査として松本で行う。東京からの委員をバスに乗せ、昼食をアルプスの郷でとる。車中で加藤登紀子の歌う「山はふるさと」を聴く。上高地インフォメーションセンターで事前説明を行い、記念式典会場となるバスターミナルと、ビジターセンター、小梨平キャンプ場等の周辺施設を調査した。委員の宿泊はアルペンホテル。翌日、会場をホテルブエナビスタに移して第3回総会を開催。



7月16日(土)、17日(日)、18日(月:海の日) 天気:曇り時々雨

街風。栩秋、大久保、内川、水越、井出は愛知県で開催された「海フェスタ」で出展。「海と山」のつながりを意識した取組で来場者によるメッセージボードも好調だった。これで東京、愛知、大阪、福岡の県外イベントを締めくくった。同日、JR長野駅近くのりんごの広場で加藤(孝)と県林務部職員がイベントに参加。



7月22日(金) 天気:晴れ

街風。松本合同庁舎で松本市・長野県職員共同のスタッフ研修。いよいよ実施体制本部が動き始める。午後、記念品が届く。内川の努力でとても素敵な出来栄えだ。山の日の帽子も届く。



7月26日(火) 天気:雨

東京。海風強し。総理官邸で山の日に関する総理表敬行事。松本市副市長、栩秋対応。



7月27日(水) 天気:曇り時々雨

午後3時、宮内庁による報道発表有。

7月28日(木) 天気:雨

岳風。出演者のキャンセル等で春原がプログラムを変更対応。この頃、おびただしい数の栄養ドリンクが差し入れられる。



8月1日(月) 天気:晴れ

街風。国機関の人事異動に伴い、式典行事の対応を変更。

8月2日(火) 天気:晴れ

街風。入道雲はいよいよ空高く伸び、夏真っ盛りである。夏らしい夏。羽蟻の襲撃に遭う。

8月3日(水) 天気:晴れ

街風。内閣改造に伴い、配役等の一部を変更。

8月5日(金) 天気:晴れ

街風。朝からホテルブエナビスタで歓迎レセプションのリハーサル。栩秋、大久保、井出が応援スタッフの皆さんと全体の流れを確認。



8月6日(土) 天気:晴れ

朝から記念品の詰め込み作業を行うため上高地消防詰所に向かう。加藤室長、栩秋、高山、加藤(孝)、所、大久保、内川、水越が対応。山岳観光課からも応援をいただく。たかだか500、とたかをくくっていたが、なかなか大変な作業だった。同じくしてバスターミナルでは舞台装置の準備作業が進んでいた。二度と見ることのないであろう光景が広がっていた。



8月7日(日) 天気:晴れ

街風。梅雨明け以降、晴れの日が続く。むしろ怖いくらいに。晴れが続けば続ほどにその後の天候変化が気になる。台風5号の上陸は避けられそうである。来賓が着装するコサージュが届く。美しい。

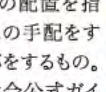
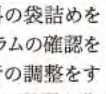


8月9日(火) 九合目 天気:晴れ

風。明日、大きな行事を取り仕切る事務局とは思えないほど、まだまだ準備におおわらわである。式典の配席を見直すもの、IDを印



刷するもの、資料の袋詰めをするもの、プログラムの確認をするもの、招待者の調整をするもの、スタッフの配置を指図するもの、バスの手配をするもの、苦情対応をするもの。そこようやく大会公式ガイドブックが届く。日付が変わっても照明は消えない。いよいよ本番である。



8月10日(水)、11日(木)山の日 頂上アタック 天気:晴天



街風。わずかに秋の気配を感じるような高い空。第1回「山の日」記念全国大会開催。室員はそれぞれ式典行事等の責任者として各地で指揮。加藤室長は大会期間中、会長(松本市長)随員として、信州四方山祭り(松本城公園)のオープニングセレモニーを皮切りに式典行事の進行等を担当。10日午前、国際フォーラムは県林務部が所管、午後、歓迎レセプションは翔秋、大久保、井出が担当。松本市街から上高地への輸送、弁当手配等は水越が、宿泊迎賓



は加藤(孝)が担当。11日(山の日)、午前5時50分頃、記念式典の上高地開催を決定、上高地



会場の実施本部は高山が責任者となり、記念式典(上高地)は春原が主担当で翔秋、高山、所、胡桃澤、大久保、内川、井出、赤羽がサポート。記念品配布は内川が担当し、信州四方山祭り(上高地)は丸山が担当、報道対応を胡桃澤が担当。午後祝祭式典(まつもと市民芸術館)は岡田が主担当で県林務部が協力。両日にわたり信州四方山祭り(松本城)は松本市商工観光部が所管、地域対応は奥原が主担当で安曇支所駐在として24時間体制で対応。午後8時、室員全員無事に安曇支所帰還。緊急の課題等の確認。個別にはいろんな事が起こったが、幸い大きな事故はなく安心。気持ちの高ぶりと共にひどい疲れが漂い、一人として「終わった」実感がいま、解散。



は加藤(孝)が担当。11日(山の日)、午前5時50分頃、記念式典の上高地開催を決定、上高地



は加藤(孝)が担当。11日(山の日)、午前5時50分頃、記念式典の上高地開催を決定、上高地



会場の実施本部は高山が責任者となり、記念式典(上高地)は春原が主担当で翔秋、高山、所、胡桃澤、大久保、内川、井出、赤羽がサポート。記念品配布は内川が担当し、信州四方山祭り(上高地)は丸山が担当、報道対応を胡桃澤が担当。午後祝祭式典(まつもと市民芸術館)は岡田が主担当で県林務部が協力。両日にわたり信州四方山祭り(松本城)は松本市商工観光部が所管、地域対応は奥原が主担当で安曇支所駐在として24時間体制で対応。午後8時、室員全員無事に安曇支所帰還。緊急の課題等の確認。個別にはいろんな事が起こったが、幸い大きな事故はなく安心。気持ちの高ぶりと共にひどい疲れが漂い、一人として「終わった」実感がいま、解散。

8月12日(金) 頂上? 天気:晴れのち曇り

街風。台風一過のような感触。大会は成功し、私たちは全国で初めての到達者となった。全員出勤、加藤室長は本所へあいさつ回り。他片付け用務。夕刻、丸山、奥原、水越、井出の4名の退任式。あっという間の時間だったが、本当にありがたかった。感謝。



8月25日(木) 天気:曇り

風なし。加藤室長、内川は東京へ各国大使館のお礼まわり。どこの国からも称賛の言葉をいただく。一部、スカウトの噂も聞かれる。

8月29日(月) 天気:晴れ

☆山の日に婚姻届を提出☆

事務局の胡桃澤です。今日とはとってもとってもハッピーな話題です。なんと!8月11日「山の日」に松本市役所に婚姻届を提出されたご夫婦が22組もいらっしゃったんです\(^o^)/元日などの他の国民の祝日に比べても多いということで、初めての国民の祝日となった「山の日」に松本市から新たな門出を迎えられた方がたくさんいらっしゃいました。そんな幸せなご夫婦を2組ご紹介いたします。

吉田達也さん(28)真由さん(28)ご夫妻東京都杉並区在住。お二人は信州大学在学時に知り合いました。二人の誕生日が11日ということもあり、8月11日の「山の日」に合わせ、松本市へ婚姻届を提出しました。飯田一至さん(24)有伽さん(26)ご夫妻松本市在住。奥様は東京都出身です。今年から国民の祝日となった「山の日」に、自然豊かな松本市で婚姻届を提出したいと思い、お二人おそろいで提出に來られました。皆さまご結婚おめでとうございます。末永くお幸せになさってください。そして、幸せなご夫婦の写真的後ろに写っているバックパネルにお気づきでしょうか。第1回「山の日」記念全国大会のロゴマークが入ったデザインのバックパネルです!婚姻届、出生届、転入届などの提出時に、記念撮影ができる写真撮影用バックパネルを松本市役所東庁舎1階(総合窓口北側)に9月末まで設置しております。届け出がなくでもご利用いただけます。ぜひともこちらでもご利用ください☆※カメラのご用意はございませんので、持参したカメラで撮影をお願いいたします。※ご利用は開庁時間内とさせていただきます。【既に終了】



8月31日(水) 天気:晴れ

街風。本日付で赤羽が一足早く下山。感謝。



9月7日(水) 天気:曇りのち雨

無風。加藤室長は国機関へのお礼まわり。

9月15日(木) 天気:曇り

街風。室員による乗鞍清掃登山実施。空は秋の装い。高山から来た元気のいい中学生たちと遭遇。



9月30日(金) 天気:晴れ

街風微風。岡田、所、胡桃澤の3名が一足早く下山。感謝。

10月15日(土) 天気:快晴(おそらくこの秋一番)

街風、微風。この室にいながら登山をしないでは名が腐る、というわけでもないが、2回目の清掃登山を企画。焼岳へ。



10月21日(金) 天気:薄曇り

☆山との友情を結ぶ

こんにちは!事務局の内川です。皆さんは、(少し季節を遡ってしましますが)新緑の上高地を代表する植物の1つである「ニリンソウ」をご存知ですか?1本の茎から2輪の花を咲かせる山野草で、よく知られているのは白い花ですが、まれに黄緑や桃などの色の花も見られます。花言葉は「友情」。2輪の花が優しく寄り添う姿はとても素敵で、この花言葉もびびりだと思えます。第1回「山の日」記念全国大会の記念式典(上高地会場)において、ご招待者の皆様の胸元に「ニリンソウ」をモチーフとしたコサージュを付けて頂きました。このコサージュの花、茎、葉の部分は、長野県飯田地方の伝統的工芸品「飯田水引」を用いて作られています。大会開催にあたり飯田水引協同組合様に製作していただきました。

飯田水引は江戸時代より受け継がれる非常に長い歴史を持ち、現在では全国の約70%の生産高を誇ります。

できあがったコサージュを拝見したとき、水引の風合いと色彩のあたたかさにほっこりしたのと同時に、一つひとつ手作業で結ばれる作品の繊細さと貴重さにとても感動しました。ニリンソウの花言葉「友情」水引のテーマ「結ぶ」このコサージュで、「山との友情を結ぶ」という想いを表現できたのではないかと思います。私事ですが・・・実は最近、水引の結びにトライしています！とても写真をアップできるレベルではないのですが(汗)、少しずつ結んで形になっていくのが楽しくてハマっています♪皆さんも機会があればぜひチャレンジしてみてください(^-^)



【10月21日(金) 南信州・飯田産業センター内にて】お世話になった飯田水引協同組合の皆様へ、感謝状をお渡ししました♪



10月20日(木) 天気:晴れのち曇り時々小雨

街風。強。午前、栩秋、加藤(孝)、春原は委託業者と大会終了後の最終調整。

10月24日(月) 天気:晴れ

街風。10月20日に、登山家の田部井淳子さんが亡くなったとの知らせが土曜日に高山に届く。謹んでお悔やみを申し上げる。

10月25日(火) 天気:曇りのち雨

街風。微風。富山県議会が調査に来られる。加藤室長と栩秋が対応。



10月27日(木) 天気:晴れ時々曇り

街風。午前、委託業者と最終調整。結果、何とか決算への道筋がたつ。

10月28日(金) 天気:雨

無風。冷え込んできた。雲は厚い。今日は残念ながら雨である。そんな日、東京からテレビ東京系列のBSジャパン「皇室の窓スペシャル」の取材があり、加藤室長が出演。栩秋、春原、内川がサポート。



10月31日(月) 天気:曇り

岳風。微風。時間が経つごとに寒くなる。典型的な冬日の兆候だ。

11月4日(金) 天気:晴れ

街風。本日、上高地で自然公園財団上高地支部の皆さんとの懇談会。



11月8日(火) 天気:曇りのち雨

木枯らし。(一財)全国山の日協議会運営委員会のため加藤室長と栩秋が上京。大会協力お礼と実績の速報を説明。

11月14日(月) 天気:曇り

木枯らし。白馬で開催される山岳フォーラムに栩秋、高山が参加。追、訃報有。

11月15日(火) 天気:曇り時々晴れ時々雨

街風。今年も山仕舞いの時期となった。昨年も雪がなかったが、今年も雪の気配はまだ遠い。栩秋、加藤(孝)、春原、大久保は上高地閉山祭に出席。



11月18日(金) 天気:晴れ

街風。微風。午前、ペナントを納品。

11月26日(土) 天気:晴れのち曇り

街風。今日から二日間、山岳フォーラムが開催される。室員全員で対応。加藤室長はパネリストとして参加、大会実績を市民に報告。



12月1日(木) 天気:雨

街風。午前、加藤(孝)は信州映像舎とDVD制作の打合せ。夕刻、加藤室長、栩秋、高山は松本市議会対応の打合せ。

12月5日(月) 天気:晴れ

街風。気づけば十二月月上旬を過ぎようとしている。少し焦りが。加藤室長は松本市議会一般質問対応。

12月8日(木) 天気:晴れ

岳風。加藤室長と大久保は協賛企業へのお礼まわりで市内へ。



12月16日(金) 天気:雪のち晴れ

午後、波田文化センターで第5回運営委員会。室、全員対応。これが最後の運営委員会である。大会実績、収支決算を議論。

12月20日(火) 天気:晴れ

街風。加藤室長と大久保は協賛企業へのお礼まわりと大会ロゴマーク制作に協力いただいた小野さんと(一財)全国山の日協議会との打合せで東京へ。

12月21日(水) 天気:晴れ

街風。冬本番とはなったが、雪は降らない。午後、安曇支所で実行委員会の監査。栩秋、加藤(孝)、春原が説明。

12月27日(火) 天気:雨

風巻。雨の中、東京で第4回実行委員会総会。構成員ほぼ全員出席。室全員で対応。大会実績、収支決算を承認。晴れて解散となる。怒涛のごとき1年であった。構成員の皆さんに感謝である。



12月28日(水) 天気:晴れ

海風。暖かい東京から安曇に戻る。仕事納め。沢山のことがあった一年が終る。この日のために大会ロゴマークをデザインしたケーキを用意する。皆まあるくなった。(完)



編集後記

大会終了後、室員のひとりが「どうしてできたか分からない」とぼそっと口にしたことがあった。それぞれ担当した大きな行事が、様々な反省を抱えながらも自分では不思議なくらい順調にできたことへの思いが自然と言葉になったのだろう。同時に、関わった多くの人たちが、同様の思いを抱きながら大会を振り返っているのではないと思う。少し他人事に聞こえるかもしれないが、本当にどれだけ多くの人々がこの大会に関わったのだろうか、どれだけ多くの人たちに助けていただいたのだろうか。ただただ“感謝”としか言いようがない。あわせて、山に関わる時間を人生の大半としてきた一個人としても、この大会のもつ意味を改めて考えるとともに、「山」に関わる人々の数多思いが無意識につながっているようにも思えてならない。

このたび、大会を振り返り、記録としてまとめるにあたり、タイトルを「登攀の記録」とした。今回の取り組みをヒマラヤなどへの登山法でいえば、少数精鋭で一気に登る現在主流の「アルパインスタイル」というより、多くの人々のサポートを受けて登る「極地法」に近かったのではないと思う。(事前のルートワークやキャンプ設営らしきも十分にできなかったのも、そうとも言えないところも多いが…笑)そして、情報もない、ルートも分からないというなかで、まさに全員が手さぐりでよじ登りながら高度を稼ぎ、ようやく山頂に立てたという思いから、若干の戸惑いもあるが「登攀」という言葉を使うこととした。

もちろん、全員が無事初登頂を果たせたのは、多くの皆様のご尽力に加え、幸運にも天候に恵まれたことが最大の要因であると思う。この点でも私たちの取り組みは、まさに大いなる自然と向き合う登山という行為と同じであったことを痛感した。私事だが、当日式典会場の陰で、ひとり穂高に向かい頭を垂れ、感謝を捧げたことを思い出す。

8人でスタートした当室も、ピーク時は15人、現在は7人、そして、二度目の春を迎えるこの3月末で看板を下ろし無人となる。大きな荣誉と責任を背負いながら、どんなに忙しく眠いときでも、先が見えず苦しいときであっても、この室には、いつも前向きな空気や、笑い声が絶えなかった。そういうときばかりではなかったかもしれないが、今は、そのようにしか思い出せない。室員それぞれが、悩みながらも自分の役割をしっかりと果たし、互いのことも気遣いながら、この仕事にあたってくれた。今思えば一人ひとりが強い意志を持ち、登頂のイメージをしっかりと描いていたからではないかと思う。そして、一人ひとりが卓越した技量を有し、誰一人欠けてもここには到達できなかった。室員の一人ひとりに最大級の感謝を送りたい。さらには、この仕事に携わることができたこと自体、奇跡的なことであり、こうした機会をつくり上げてくださった関係の皆様にも心から感謝して止みません。

本誌では、大会に関わる全記録をと言いつつ、記録しきれなかったところや分かりにくい点多々あると思う。また、残したくも残せない部分もあり、完全な記録とは言い難いことに対してもご容赦いただければありがたい。あわせて、お忙しいなか、国会議員をはじめ多くの皆様に思いのこもったご寄稿をいただき記録誌に花を添えてくださったことに対しても、衷心より感謝申し上げます。

大会の理念が、本当に達成できたのだろうかなどと、いまだに自問自答しているが、この大会を通して、多くの方々と出会い、学び、同じ頂を目指しながら過ごすことができた。これも「山」がもたらしてくれた大きな恩恵のひとつであり、代えがたい財産であると思う。この「山の日」が育んでくれた絆に心から感謝しながら、これからも、「山の日」に関わった者の責務として、山と人がしっかりとつながる社会の実現に、少しでも貢献していきたいと思う。とともに、山を愛し、山と共に生きる人たちが少しでも増えていくことを心から願い後記としたい。またどこかで会える日を楽しみにしています。

第1回「山の日」記念全国大会実行委員会事務局(松本市商工観光部山の日記念大会推進室)

加藤銀次郎 羽秋隆哉 高山昇 加藤孝 春原亘 大久保美穂 内川紗優里

丸山邦仁 岡田岳雄 胡桃澤真紀 所崇之 奥原知幸 水越大樹 井出竜生 赤羽望美





山 鐘

～第1回「山の日」記念全国大会 登攀の記録～

主 催
第1回「山の日」記念全国大会実行委員会

協賛(8合目以上)



後 援

内閣府、外務省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県議会議長会、
全国市議会議長会、全国町村議会議長会、一般社団法人長野県観光機構、長野県林業団体協議会、
一般社団法人松本観光コンベンション協会、松本商工会議所

協 力

J A松本ハイランド農業協同組合波田スタンド、J R東日本松本駅、NTT東日本、朝日村、安曇野市、
アルピコ交通株式会社、アルピコ交通株式会社上高地営業所、アルピコ交通株式会社新島々営業所、
糸永正之、一般財団法人自然公園財団上高地支部、一般財団法人ピアーズさわんど、
一般財団法人松本市文化芸術振興財団、稲核町会、上田市、大野川町会、大野田町会、大町市、
大見士朗、奥田一宏、奥飛騨観光開発株式会社、麻績村、学校法人東京医科大学上高地診療所、
株式会社BO-GA、株式会社イオジャパン、株式会社小石興業、株式会社五千尺、
上高地タクシー運営協議会、上高地帝国ホテル、関東管区警察局、木祖村観光協会、溪流荘しおり絵、
公益財団法人日本道路交通情報センター長野センター、国土交通省長野国道事務所、佐藤帯刀、
さわんど温泉旅館組合、沢渡町会、塩尻市、島々町会、白骨温泉旅館組合、信州大学医学部附属病院、
総務省信越総合通信局、高山市、筑北村、中部電力株式会社松本営業所、東急REIホテル、
特定非営利活動法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ、中日本エクシス株式会社、
長野県梓川土地改良区、長野県議会事務局、長野県教育委員会、長野県警察本部、
長野県東京事務所、長野県松本蟻ヶ崎高等学校書道部、長野県松本建設事務所、
長野県松本合同庁舎トレッキング部、長野デザインセンター、ながわ観光協会、奈川地区町会連合会、
日本アルプス観光株式会社、日本山岳会信濃支部、濃飛乗合自動車株式会社、
のりくら観光協会、橋場町会、斐太石油株式会社平湯給油所、藤村健、防衛省陸上自衛隊、
ホテル翔峰、ホテルプエナビスタ、松塩地区広域施設組合、松本広域消防局、松本市議会事務局、
松本市歯科医師会、松本城管理事務所、まつもと市民芸術館、松本市立博物館、
道の駅風穴の里、山形村、山と溪谷社、山と自然博物館

発行日

平成29年3月1日

発行元

第1回「山の日」記念全国大会実行委員会
(事務局:松本市山の日記念大会推進室)

編 集

第1回「山の日」記念全国大会記録誌編纂委員会

印刷・製本

株式会社 日本広告



"SANSYOU"

~The Record-book of The Inaugural National Ceremony for Mountain Day~